

作業療法技術学Ⅷ（予防的リハビリテーション）

【科目名】 作業療法技術学Ⅷ（予防的リハビリテーション）		【担当教員】							
【授業区分】 専門分野 (特論)		【授業コード】 4-26-1050-0-2		栗原 トヨ子、永松 一真 (メールアドレス)					
【開講時期】 4年 後期		【選択必修】 選択		kurihara@nur.ac.jp nagamatsu@nur.ac.jp					
【単位数】 1		【コマ数】 8		(オフィスアワー) 火～金曜、8:30～18:00					
【注意事項】 (受講者に関わる情報・履修条件) 予防的リハビリテーションに興味があり、積極的にグループワークに参加できる学生。 (受講のルールに関わる情報・予備知識) 自らの臨床実習経験を元に、予防的リハビリテーションについて討議や発表を行う。									
【講義概要】 (目的) 作業療法の新しい分野「予防的リハビリテーション」における作業療法について学ぶ。地域リハビリテーションにおける対象者への介入を学生と一緒に考えながら学修することを目的とする。 (方法) まず予防的リハビリテーションについての理解を深めた後に、教科書や配布資料にそって、実際に作業療法に生かしている実践例をいくつか紹介し、ディスカッションする。									
【一般教育目標(GIO)】 予防的リハビリテーションについて、文献、実践例を紹介し、理解を深める。 【行動目標(SBO)】 予防的リハビリテーションの文献、実践例についての理解を深める。 教員、学生とディスカッションを行うことができる。									
【教科書・リザーブドブック】 適宜資料を配布する。									
【参考書】 適宜資料を配布する。									
【評価に関わる情報】 (評価の基準・方法) 成績評価基準は本学学則規定の GPA 制度に従う。 講義への参加態度、ディスカッションの状況など総合的に判断する。									
【達成度評価】		試験	小テ スト	レポート	成果発 表	実技	ポートフォ リオ	その他	合計
総合評価割合				40	60				100点
評	取り込む力・知識			20					

平成 26～28 年度入学者用

価値指標	思考・推論・創造の力			20				
	コラボレーションとリーダーシップ				20			
	発表力				20			
	学修に取り組む姿勢				20			

【授業日程と内容】

回数	講義内容	授業の運営方法	学修課題(予習・復習)	時間(分)
1	オリエンテーション 予防的リハビリテーションについての概論	講義	配布資料を読んでおく。	
2	加齢や疾患の進行、治療の結果が原因として生じることが予測される障害とは何か?①	講義、演習	配布資料を読んでおく。	
3	加齢や疾患の進行、治療の結果が原因として生じることが予測される障害とは何か?②	講義、演習	配布資料を読んでおく。	
4	発表、まとめ	発表	配布資料を読んでおく。	
5	生活行為向上マネジメントについて	講義、演習	配布資料を読んでおく。	
6	生活行為向上マネジメントについて	講義、演習	配布資料を読んでおく。	
7	生活行為向上マネジメントについて	講義、演習	配布資料を読んでおく。	
8	発表、まとめ	発表	配布資料を読んでおく。	

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の3倍)に含むべき時間を示します。